

## 令和元年度アーバンデザインスクール後期第3回実績報告書

### (1) 開催日時

令和2年1月10日（金） 18時30分～20時

参加人数：21名

### (2) テーマ

小さな空間から都市をプランニングする

「3㎡からはじめるまちづくり（戸田市+京都市伏見区）」

### (3) 話題提供者

吉田哲（京都大学大学院工学研究科建築学専攻 准教授）

### (4) 話題の概要

- 2019年に出版された『小さな空間から都市をプランニングする』（学芸出版社）の著者のうち8名によるシリーズ講義として、武田史朗氏（UDCBK 副センター長・立命館大学理工学部教授）にコーディネート頂く。
- 第3回は、吉田氏に「3㎡からはじめるまちづくり（戸田市+京都市伏見区）」をテーマに話題提供頂いた。
- 歩行困難者の存在
  - 長い距離を続けて歩けないお年寄りなど。
  - 好きな時に自由に外に出ていきたいという想いがある。
  - ベンチがあれば自力で歩いて行ける距離が増える。
- 日本の都市は
  - お金を払えば座れる場所はあるが、無料で座れる場所が少ない。
  - 自分で折りたたみ椅子を歩道に広げて座る人や、植え込みの段差に座る人たちの存在。
  - 新聞の投書欄には「車を運転できなくなると坂道がしんどい」「選挙に行くのも大変」という声も。
  - このような人たちが居るということに、気が付かない人が多い。
- 歩いて楽しいまちとは？
  - にぎやかな繁華街を歩いて楽しむというだけでは解決しないこともある。
  - 高齢者にはお住まいの近くで買い物や散歩に歩いて出かけて生活できること

が必要。そのためには、途中で座れることが重要。

- 座れる場所を用意しなければ、そもそも歩いて行くことが出来ない人たちがいる。
- 高齢者人口が増えていく社会なので、そのような人の割合は決して少なくない。

- 戸田市の事例

- 高架下の空地にて、コンサルタントの方が催しを開催したりしていた。その際、続けて歩いて行けない人たちを見かけることがあり、「それならば自分の知り合いのお店の人たちにベンチを置いてもらおう」と考え、お願いして回った。
- 人がベンチに座って休憩している風景が増え、ベンチ伝いに歩行のネットワークが出来た。

- ベンチ設置の法的根拠

- 歩道の余地幅員が1,5メートルあれば、ベンチの固定設置が可能。
- 行政の管理でなくても、NPO等が管理するのならば設置できるようになった。

- 京都の寺町通や錦市場などの商店街にベンチを設置する取り組み

- まず人々の動きを調査。お年寄りの多く通る寺町通にベンチ設置を検討。
- 北山杉のベンチの制作、設置。

- 京都市伏見区にベンチを設置する取り組み

- 1970～80年代に開発された閑静な住宅街であり、高齢者の独居や夫婦のみの世帯が多い。
- 公園や歩道へのベンチ設置は許可が必要。
- 道を歩いている高齢者は、公園の中にあるベンチは座りに行かない。
- 狭い歩道への設置は幅員の規定があるため厳しい。
- 家やお店の軒先、軒下、ガレージ前などの私有地がキーである。
- 関係者で実際に歩いて、候補地を探して、頼んでみる。

- ベンチを制作したり買ったりする費用

- 北山杉ベンチ 約5万円
- 深草竹ベンチ 約1.3万円
- 手持ちのパイプ椅子 金物連結具製作 約3000円
- ホームセンターで売っている既製品のベンチ 約8000円
- その他 補助金、活動支援費用、寄付、クラウドファンディングなど

- 座っても良いという印
  - 誰でも座っていいですよ！というメッセージを伝えなければ、座ってもよいのか分からず、座るのに躊躇する。
  - 「おでかけベンチ」、「とまり木ベンチ」などのマークやステッカーを表示。
  
- ベンチがあると…？
  - ベンチがあると、行けるところが目に見えるネットワークになる。
  - 自立した暮らしを継続できる可能性が増す。
  
- まちづくりの **KEY WORD**
  - 「小さな単位を連帯させる」  
一か所ずつは小さな取り組みでも、ネットワークが形成されると広がる。
  - 「時間をかけて育てる」  
最初から全体を計画するのではなく、小さな取り組みを一か所ずつ積み重ねる。やってみて問題が生じなければ継続する。
  - 「多様性を持つ都市」と「まちに対する期待」  
多様性をもつ都市として、街に対する期待を高め、一人で行きたいときに行けるように。

#### (5) ワークショップ

- 4つの質問について、ワークシートにそって各自考えシェアしてもらった。
  - ① 普段買い物するスーパー・商店街までの距離は？  

参加者の意見

 200m、600m、800m、1km など
  - ② 続けて300mずつしか歩けません…。買い物に連れて行ってくれる人、ご近所にいますか？  

参加者の意見

 いない、家族のみ など
  - ③ 途中ベンチを置いてもらえそうな所？どんな所？  

参加者の意見

 小学校前、住宅の前、商店街の店先、銀行前、車が通らない所、お地藏さんの横、お寺の前、掲示板の横 など  
誰と頼みにいきますか？  

参加者の意見

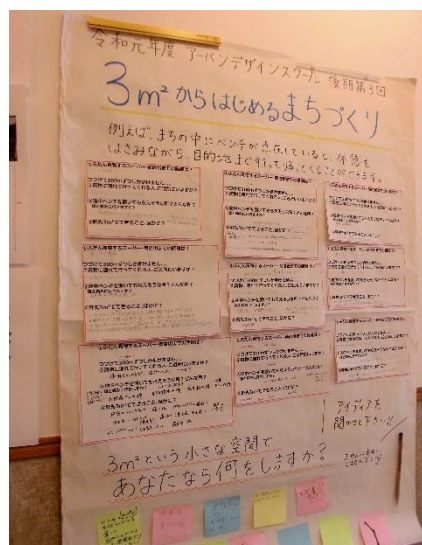
 大学の研究室、町内会、自治会、民生委員 など
  - ④ 軒先3㎡でできること、ほかに？  

参加者の意見

 防災活動、水分補給、日よけ・雨よけ、情報発信、植栽、足湯 など

## (6) 壁面展示

- ワークショップにて参加者が取り組んだワークシートの一部を、UDCBK壁面に展示した。
- UDCBKを訪れた利用者にも、3㎡で何ができるかを考えて、付箋に書いて貼ってもらった。
  - 図書館、美術館、屋台、駐車場を利用したミニサロンなどのアイデアが寄せられた。



## (7) まとめ

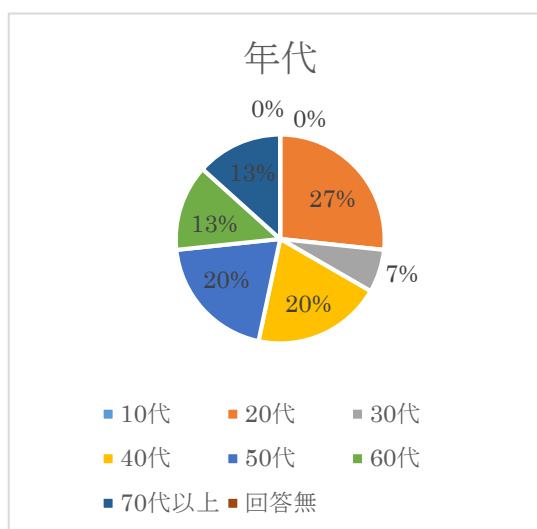
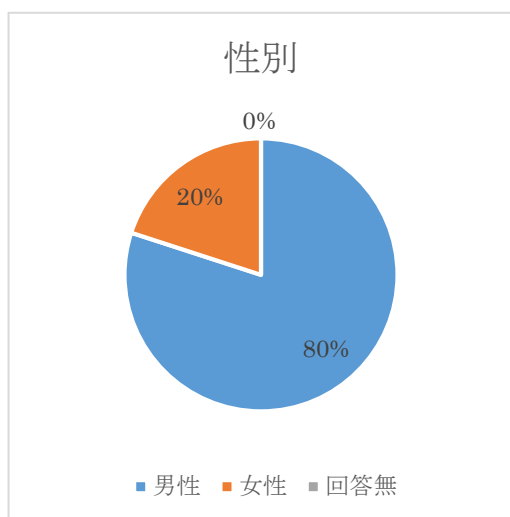
まちにベンチを点在させる取り組み事例について学び、ベンチがあることによって移動制約者が自分の力で外に出かけられる可能性が高まることを知った。

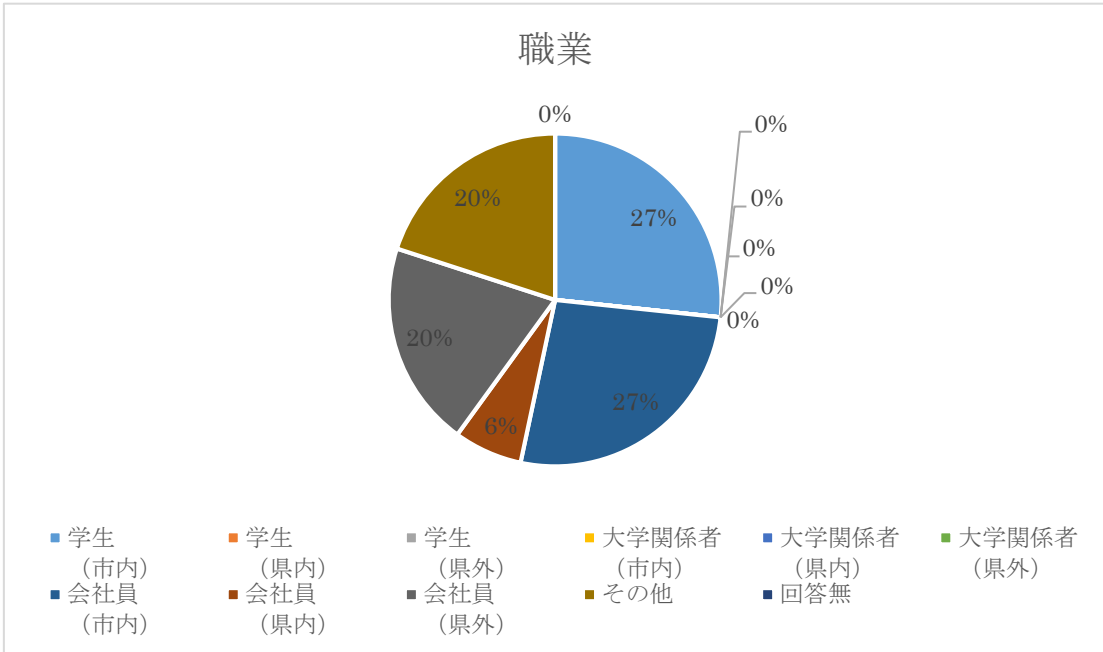
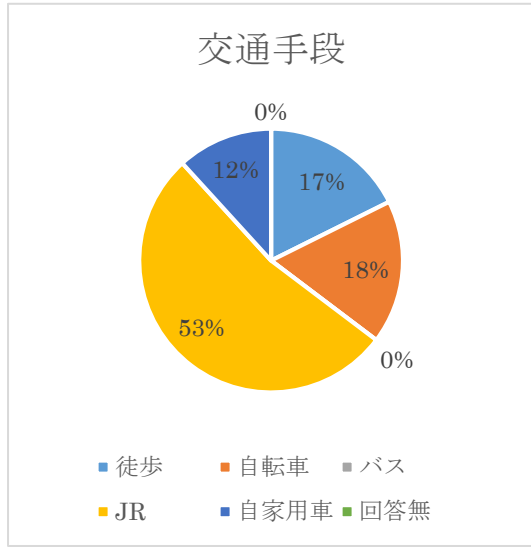
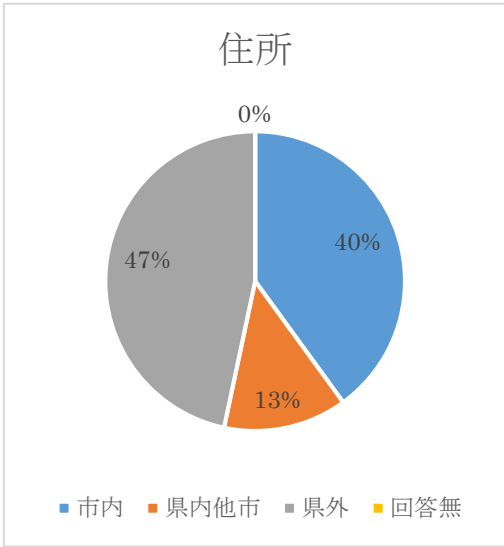
大きな都市計画ももちろん重要ではあるが、3㎡というような小さな空間からもまちづくりは始められるのだということを理解し、わずかな余地でもそこで出来ることを考えていく姿勢を持ちながら、それぞれまちと関わることを期待される。

## (8) アンケートまとめ

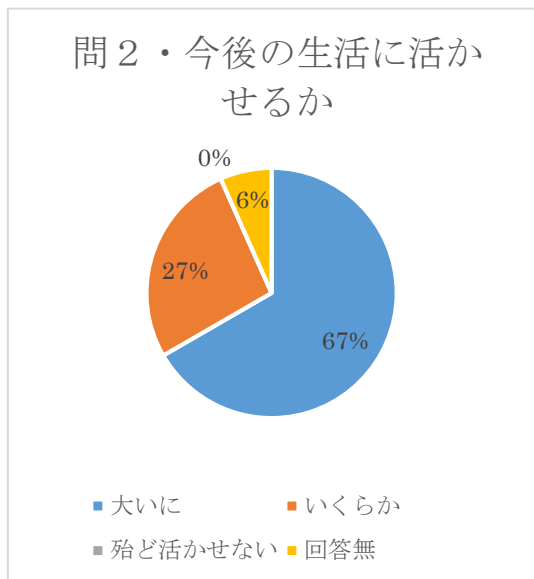
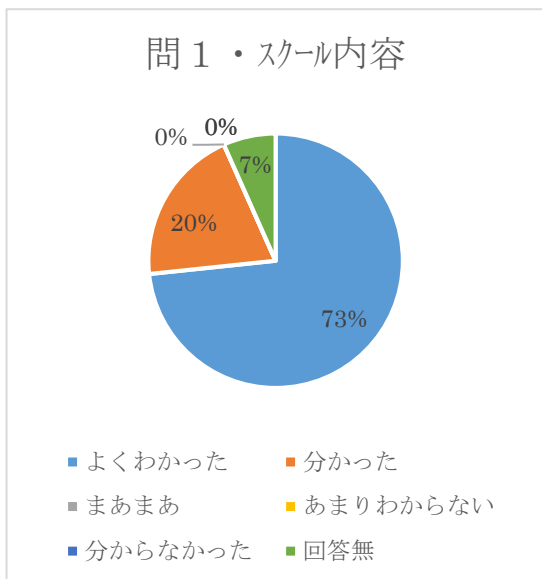
### ① 参加者属性

参加者21名のうち、アンケートに回答いただいた方は15名、回答率は71%だった。





② 内容について



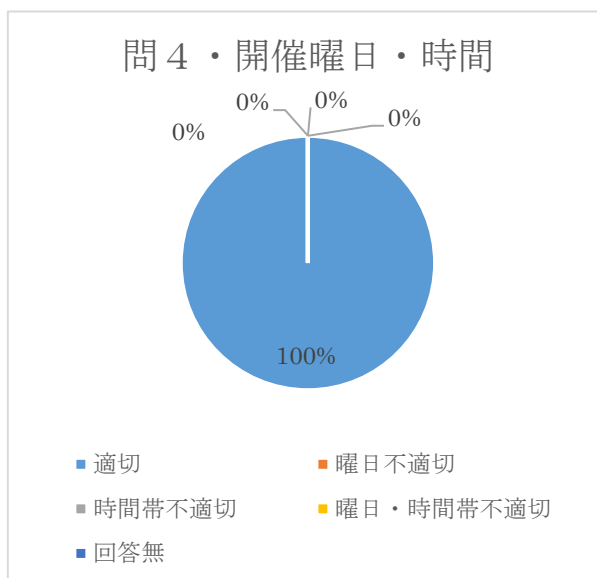
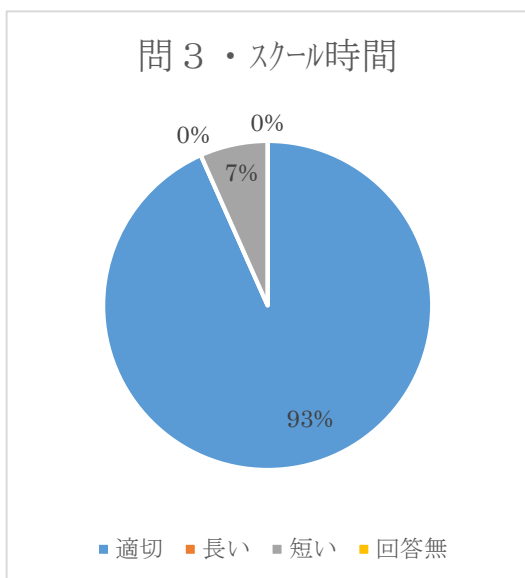
【自由記入欄回答】

問3. 時間はどうでしたか。

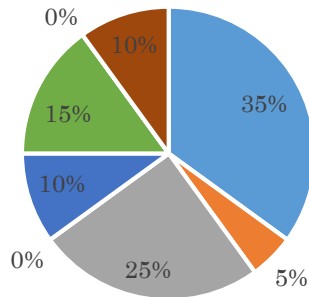
・ 2時間が適切 (50代男性)

問4. 開催曜日、開催時間は適切でしたか。

回答なし



参加動機



- テーマに関心    ■ UDに関心    ■ まちづくり関心    ■ UDCBKに関心
- 友人に誘われ    ■ 面白そう    ■ その他    ■ 回答無

【自由記入欄回答】

問5. 今回参加した動機についてお聞かせください。それぞれに関心のあるテーマについて御自由に記載ください。

- ・ コミュニティーづくりについて（70代以上男性）
- ・ 観光・食の名物（60代男性）
- ・ UDの町づくりにとって、「100mごとのベンチ」「3㎡のまちづくり」は大いに参考になる考え方だと思いました（50代男性）
- ・ 街の観光資源とそのバリアフリー、ユニバーサルデザインについて（50代男性）
- ・ オープンスペースの活用について（20代男性）
- ・ 緑茶化について（20代男性）
- ・ 災害に強い”可撓不屈”なまちづくり（40代男性）
- ・ PPP 都市経営（30代男性）

【自由記入欄回答】

問6. 今回、印象に残ったこととその理由をお聞かせください。

- ・ 民地の利用から道路の活用への話につながったこと・まさに公民連携だと思いました（30代男性）
- ・ ベンチ1つで高齢者がまちに歩くことができることということを知りました.3㎡の空間のまちづくりをたくさんくり返すことで、いずれ大きなまちづくりにつながるのではないかと考えた（20代男性）
- ・ 3㎡でできることを考える発想には目が向かなかつたし、小さなことに目を向けること

が大切だということを学びました、ありがとうございました（20代男性）

- 3㎡の活用について、いろいろ創造がふくらむ内容で楽しく聞かせていただきました。私の父親も店舗付住宅でパン屋さんをしていたのですが店先にベンチを作って置いていたのを思い出し、いつも近所の方が寄って情報交換をされていました（50代男性）
- ベンチが少ないと思っていた人が自分の他におられたことがわかった。でも何でベンチがないのかな（60代男性）
- 明日の新しいまちづくりに大変貴重な提案で、参考になり ありがとうございます。何か実践活動の動機にしたいと思います（70代以上）
- 自分とは無縁の事だったので、そのような事実があるという事を知りました。印象に残ったことは、ベンチという考え方、取り込み、規制についてです。理由としては学校では習ってこないことなので（20代男性）
- 続けて歩けなくなる。ということをあまり真剣に考えた事はありませんでした。ベンチの可能性、コミュニティーのツールになるのが素晴らしいと思います（40代女性）
- 私自身が膝が悪くなり、坂道や歩道の傾斜が辛くなってきているので、今回の話しはとても共感した。又、日頃筋をつける為歩く時、草津でも広い場所でも狭い場所でも、もう少し休憩できる様にしてもらえたらと思っていたので。  
別なことだが、置くベンチは手すりとか肘かけがあるものを、と思う。歩けなくなると、座ること、立つこと自体が辛いのではと考える（60代女性）
- 「ベンチを置くこと」にいろいろと障害があることを知りました。また、戸田市は、教育も熱心なところですが、街づくりにも熱心な方がおられることを知り、感銘を受けました（50代男性）